

<認知神経リハビリテーション・アカデミア>

[行為の予測・比較・記憶]

10:00-10:50 (50) 講義 1) 認知神経理論：認知運動療法 (ETC) から行為間比較 (CTA) への変遷 (宮本)

- ①「行為」の条件と「行為間比較」の条件
- ②「比較」と「関連付け」による情報統合の必要性の探索
- ③行為における「三人称的認知」と「一人称的認知」

11:00-11:50 (50) 講義 2) 行為の空間と記憶～行為間比較の神経科学と身体論 (園田)

- ①多感覚統合と行為の全体性／拡張性／複合性
- ②「行為の記憶」「行為の想起」「行為の空間」
- ③「比較器官」としての脳

12:00-12:50 (50) 講義 3) 観察・訓練・検証における比較の用法 (濱田)

- ①行為間比較に関わる用語
- ②各場面における比較の意味
- ③両手の行為からみた情報メカニズムの考え方

12:50-13:40 昼食

[行為間比較の実際]

13:40-14:40 (60) 講義 4) 行為間比較のプロトコル (平谷)

- ①道具としてのリハビリテーションカルテ
- ②「観察」「訓練」「最終評価」の各パートの意味と臨床思考プロセス
- ③「いつ」「何を」「どのように」比較するか

14:50-16:20 (90) 講義 5) 観察から改善すべき行為の選択まで (内倉・平谷・全講師)

- ①「自発的行為」「要求された行為」「報告された行為」の観察と難易度
- ②自覚の改善と行為の改善可能性
- ③「どのように」改善すべき行為を選択するか

16:30-18:00 (90) 講義 6) 訓練の選択から最終評価における検証まで (内倉・濱田・全講師)

- ①「どのように」訓練を選択するか
- ②「訓練の名称」「訓練のテーマ」「訓練の内容」
- ③比較による「関連性 (類似と差異)」の探索と行為の改善のための統合と拡張

18:00-18:30 軽食

[行為システムにおける“両足の行為”]

18:30-19:20 (50) 講義 7) bipedal motion の神経科学 (奥埜)

- ①行為の意図・予期・志向性の理解のための両足の行為
- ②両足でなければ構築されない情報とは何か
- ③両足と他の身体部位と外部世界の相互作用

19:20-20:30 (50) 講義 8) bipedal motion: これまでの問題と新しい仮説 (全講師)

- ①両手で物を取る・置く、靴を履くために足を組む、～のために立ち上がる、～のために歩く・・・
- ②患者の両足の行為の特徴とその解釈
- ③新しい仮説と新しい訓練の提案